

2015年1月号 No. 144

## とれる？とれない？

また字ばかり...

今月はしんのうが担当です。またまた歯のお話になりますが、今回のテーマは「常識と非常識」です。

歯医者の世界は、一般的にはほとんど進歩してない！とよく言われます。それこそ「何十年も前からやることが変わってらん！」とか「むし歯がなくなると歯医者がつぶれるけー、むし歯にならん方法をひみつにしとんじやろ？」なんて言われることもあります。

でも、外から見ると変わっていないように見えても、着実に進歩しているんです。それに伴って今までの「常識」が「非常識」になってるなんてことがあります。今回はそんなお話してみます。

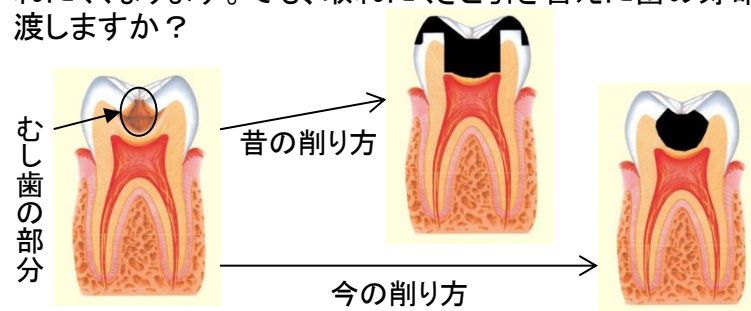
詰め物についてのお話です。良い歯医者さんの条件として、昔(今も?)は詰めものやかぶせがとれない歯医者、というのが「常識」でした。30年くらい前なら間違っていないです。でも、今じゃ「非常識」なのです。これには2つの理由があります。1つ目は歯の寿命に関する調査で、自分の歯の部分が少ないほど、歯の寿命(抜けるまでの年数)が短くなるということが分かったことです。

2つ目は詰め物をくっつける接着剤の進歩です。

昔は詰め物は歯のエナメル質と言うところしか強くくっつかず、「詰め物が取れる＝最初からちゃんとくっついていない」と言うことでした。なので、取れると言うことは治療の失敗に近い意味だったのです。だから歯医者は摩擦とかも利用して、物理的に取れにくい形になるよう、削らなくていい部分まで削っていました。ところが接着剤が進歩して、摩擦とかを利用しなくても結構くっつくようになってからは、「あれ、取れないように歯を多く削るってことは、歯の寿命を縮めてるんじゃないか？」ということになって、それなら削る量は最小限にしよう！という「常識」が生まれました。

この新しい常識に則った場合、同じ削り方なら前よりは取れにくくはなっていますが、摩擦などの他の力を利用しない分、どうしても取れる事がやや増えます。でも、問題ありません。最小限しか削っていないから、新しくむし歯が出来ていない限り、詰めなおすだけですみます。だから、取れたらなるべく早く来て下さいね！！

もちろん、今の接着剤を使って、取れにくく削れば、かなり取れにくくなります。でも、取れにくさと引き替えに歯の寿命を売り渡しますか？



1月8日・22日・29日(木)は休診です。  
1月15日(木)は午前中のみ診療します。  
12月29日～1月4日まで年末年始のお休みとさせていただきます。  
よろしくお願いいたします。

〒700-0975 岡山市北区今3-1-35 まき歯科クリニック

TEL 086-243-1006 FAX 086-243-1106

HP: <http://www.maki-dental.jp>

Mail: [makishika@do5.enjoy.ne.jp](mailto:makishika@do5.enjoy.ne.jp)

まき歯科ブログはこちら↓ よろしくね。

<http://blog.livedoor.jp/makishika/>



MAKI DENTAL CLINIC